特別企画展

刀剣

古代の武といのり

SWORD

今やブームとなった「日本刀」、そのルーツは弥生・古墳時代の刀剣にあります。この時期の刀剣は武器としての威力だけではなく、権威を象徴するという大きな役割がありました。本展覧会では、関東から九州にかけての古墳文化を彩った刀剣を通じて、刀剣が社会において果たした役割を明らかにします。

※本展覧会は古代歴史文化協議会による共同調査研究「古墳時代の刀剣類」を基礎にして構成します。

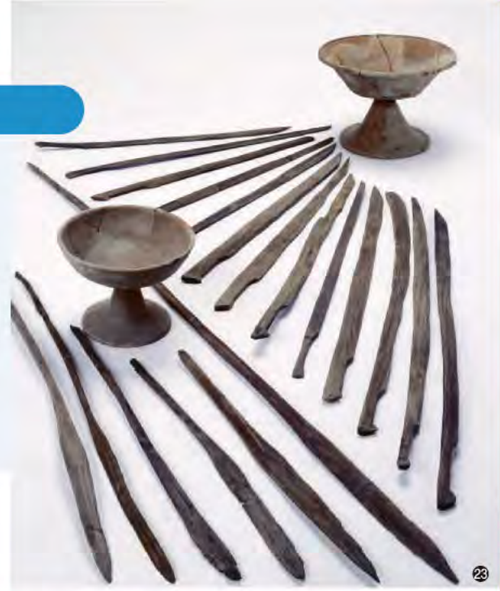
大阪歴史博物館
Osaka Museum of History

古代歴史文化協議会

第5章　刀剣に込めた想い

古墳時代の刀剣は様々な器物にも現れます。なかでも腰に大刀をつけた人物埴輪からは、当時の武人の姿が具体的に想像できます。刀剣をかたどった木製品からは、共同体の祭器として神へ刀剣を捧げる儀礼が行われていたことがわかります。

㉒埼玉県行田市 瓦塚古墳出土の弾琴埴輪と大刀装着部分（古墳時代後期:6世紀／埼玉県立さきたま史跡の博物館蔵）
㉓三重県津市 六大A遺跡出土の木製刀形（古墳時代中～後期:5～6世紀／三重県埋蔵文化財センター蔵）



終章　刀剣のゆくえ

7世紀（飛鳥時代）以降、古墳時代の刀剣の多様性は薄れ、律令制が浸透するなかで装飾の少ない洗練された姿に変化しました。一方、刀剣の象徴性は受け継がれ、征東将軍や遣唐使の任命時には節刀が天皇より授けられました。「刀」は軍事権を象徴する器物として、中近世の武家政権に継承されてゆきます。

【展示に関連する遺跡の位置】

※赤字は古代歴史文化協議会を構成する14県です。

表紙写真
①埼玉県鴻巣市 生出塚埴輪窯跡出土の武人埴輪（古墳時代後期:6世紀／国指定重要文化財:鴻巣市教育委員会蔵）　②福岡県福岡市 吉武高木遺跡第3号木棺墓出土の細形銅剣（2点、弥生時代中期:紀元前3世紀／国指定重要文化財:文化庁蔵、福岡市博物館保管）
③大阪府高槻市 今城塚古墳出土の大刀形埴輪（古墳時代後期:6世紀／高槻市立今城塚古代歴史館蔵）　④島根県出雲市 上塩冶築山古墳出土の金銀装円頭大刀（古墳時代後期:6世紀／国指定重要文化財:出雲弥生の森博物館蔵）　⑤島根県松江市 御崎山古墳出土の獅噛環頭大刀（古墳時代後期:6世紀／島根県教育委員会蔵、写真は島根県古代文化センター提供）
⑥岡山県赤磐市 岩田14号墳出土の単龍環頭大刀（2点、古墳時代後期:6世紀／赤磐市教育委員会蔵）

特別企画展「刀剣 ～古代の武といのり～」
展示解説リーフレット

会　　期：令和4年（2022）
　　10月15日（土）～12月4日（日）
会　　場：大阪歴史博物館 6階 特別展示室
主　　催：大阪歴史博物館・古代歴史文化協議会
編集・発行：大阪歴史博物館

※写真の中で展示されない資料が含まれているものについては、番号を白抜きにしています。

第1章　刀剣のはじまりと前方後円墳の成立

弥生時代は日本の刀剣史の出発点です。北部九州を窓口とした大陸との交渉により、新たな刀剣類が日本列島にもたらされるようになり、各地に広がりました。そして、畿内に巨大な前方後円墳が登場する古墳時代には、多くの刀剣が古墳に副葬されるようになります。なかには権威を誇示するかのように、個人の装備をはるかに超える量を副葬するものも現れます。

⑦

⑧

⑨

⑩

⑦福岡県福岡市 雑餉隈遺跡出土の磨製石剣（弥生時代早期:紀元前8～5世紀／福岡市指定文化財:福岡市埋蔵文化財センター蔵）　⑧岡山県総社市 宮山墓出土品（弥生時代終末期～古墳時代初頭:3世紀／岡山県立博物館蔵）　❾奈良県桜井市 メスリ山古墳出土の鉄ヤリ（古墳時代前期:4世紀／国指定重要文化財:奈良県立橿原考古学研究所附属博物館蔵）　❿石川県七尾市 国分尼塚1号墳出土品（古墳時代前期:4世紀／七尾市教育委員会蔵、写真は石川県立歴史博物館提供）

第2章　刀剣が語る巨大古墳の時代

5世紀（古墳時代中期）になると、巨大前方後円墳の分布域が奈良盆地から大阪平野南部の百舌鳥・古市古墳群に移り、刀剣類に加えて、甲冑などの武具も多量に副葬されるようになりました。この変化は各地にも広がり、ヤマト王権を頂点とした地域間のつながりがうかがえます。

⑪

⑫

⑬

⑪鳥取県倉吉市 頭根後谷6号墳出土の蛇行剣（古墳時代中期:5世紀／倉吉博物館蔵）
⑫佐賀県唐津市 汐井川古墳群ST02号墳出土品（古墳時代中期:5世紀／佐賀県蔵）
⑬兵庫県朝来市 茶すり山古墳出土品（古墳時代中期:5世紀／国指定重要文化財:朝来市教育委員会蔵、写真は兵庫県立考古博物館提供）

第3章　刀剣からみた王権と地域支配

6世紀（古墳時代後期）になると、金・銀を駆使した装飾付大刀が日本列島各地の古墳から出土するようになりました。これらの大刀にはヤマト王権から地域の首長に与えられたものがあり、王権による支配の広がりを知ることができます。一方、地域の首長の中には、独自のルートで朝鮮半島から大刀を取り寄せた例もあります。

⑭

⑮

⑯

⑰

⑱

⑭埼玉県行田市 稲荷山古墳出土の金錯銘鉄剣（古墳時代中期:5世紀／原品は国宝、展示品は複製品:埼玉県立さきたま史跡の博物館蔵）
⑮福井県若狭町 丸山塚古墳出土の三葉環頭大刀柄頭（古墳時代後期:6世紀／福井県指定文化財:若狭町教育委員会蔵）
⑯宮崎県高鍋町 持田26号墳出土の三葉環頭大刀・小刀柄頭（古墳時代後期:6世紀／宮崎県立西都原考古博物館蔵）
⑰奈良県橿原市 新沢千塚262号墳出土の捩り環頭大刀柄頭破片（古墳時代後期:6世紀／奈良県立橿原考古学研究所附属博物館蔵）
⑱広島県三次市 箱山第1号古墳出土の金銅装圭頭大刀と柄頭（古墳時代後期:6世紀／広島県立埋蔵文化財センター蔵、写真は公益財団法人広島県教育事業団撮影）

第4章　刀剣の生産

刀剣の生産に不可欠な鍛冶の技術は、古墳時代に飛躍的に発展しました。また、鞘や柄などの刀装具には、金・銀などの金属をはじめ木材や鹿角、繊維などさまざま素材が用いられました。刀剣を作った工房跡からは、砥石や金属加工の途中で生じた鉄滓のほか、刀装具の未完成品なども発見されます。

⑲

⑳

㉑

⑲石川県小松市 千代・能美遺跡出土のヤリ鞘（古墳時代前期:4世紀／小松市埋蔵文化財センター蔵）
⑳和歌山県田辺市 磯間岩陰遺跡出土の鉄剣と鹿角製剣装具（古墳時代中期:5世紀／国指定重要文化財:文化庁蔵、写真は和歌山県立紀伊風土記の丘提供）
㉑奈良県御所市 南郷遺跡群出土の鞴羽口と鉄滓（古墳時代中期:5世紀／奈良県立橿原考古学研究所附属博物館蔵）